

卒業生のバンド「時速 36km」とタイアップし、PR 動画をリニューアル 武蔵大学の魅力が伝わる「1分でわかるゼミの武蔵」

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）はPR動画をリニューアル公開しました。今回の動画では、本学に入学した学生が4年間の学びを通して成長し、卒業後に社会で活躍する姿をアニメーションを交えながら描いています。また、本学の特長であるゼミをはじめとする少人数教育やグローバル教育、都心にありながら緑豊かなキャンパスの魅力を1分間に凝縮し紹介しています。

動画の背景に流れる音楽は本学の卒業生であるバンド「時速 36km」による『七月七日通り』をBGMとして採用しています。リニューアルされた武蔵大学のPR動画をぜひご視聴ください。

1分でわかるゼミの武蔵

<https://www.musashi.ac.jp/news/mr436c0000004ft8.html>

■ コンセプトとストーリー

自分のやりたいことを探している高校生が本学に入学し成長を遂げ、エンディングでは未来に向かって歩き出す姿を疾走感たっぷりに表現しています。本学での4年間の学びに加え、卒業後も様々な分野で活躍する学生の姿を描くことで、学生の明るい未来を感じる作品となっています。エンディングのシーンでは、主人公が大学の門を出て未来に向かって歩き始めた上空に「ミライの君はどこへだって行ける。」の文字が浮かび上がります。このメッセージには、本学の卒業生があらゆるような場所にも自由に飛び出せるという無限の可能性が込められています。またBGMである『七月七日通り』の歌詞の一部とリンクしています。



■ 撮影のこだわり

キーとなる撮影場所として、本学キャンパスの中でも印象的で四季を感じることができる正門前、3号館渡り廊下を選定。実写とイラストを交えながら季節の移り変わりを表現しました。

■ イラストレーター

イラストにおいても本学の緑豊かで魅力的なキャンパスを表現するため、表現力豊かなアーティストを採用しました。

方山れいこさん

デザインでソーシャルグッドを目指す株式会社方角の代表取締役であり、個人でイラストレーター・アニメーターとしても活動。

中内友紀恵さん

東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修了。アニメーター・イラストレーターとして活動。

■ 主人公役は現役の武蔵大生

高校時代から自分のやりたいことを探していた自らの姿を重ねながら、早朝からグラウンドを疾走したり、留学生に交じって英語で歌を歌ったり、スタジオでは様々な職業を演じたり。過密スケジュールの中撮影を見事にこなしました。

■ 卒業生であるバンド「時速 36km」の曲を使用

「時速 36km」は若い世代から支持を集める四人組バンド。メンバー全員が本学の卒業生で、本学所在地である江古田を拠点として活動し音楽発信を行っています。同じく江古田を本拠地とし、長年の間江古田で学生を育み、世に送り出してきた武蔵大学。制作にあたり、BGMは「時速 36km」以外には考えられませんでした。

時速 36km : <https://www.36kmperhour.com/>

—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・西（ますだ・にし）

TEL : 03-5984-3813 E-mail : pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開校され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開校、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開校し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

